

# 横浜市立大口台小学校 豊かな心の育成推進プラン

## 1. 中期学校経営方針より

### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員が学校経営に主体的に参加し、活力と魅力ある学校づくりを推進します。</li> <li>・家庭・地域・関係機関との連携を図り、開かれた学校づくり・安全安心の学校づくりを進めます。</li> <li>・望ましい人間関係のもと「分かる授業」「楽しい授業」を目指して、基礎・基本の充実と授業の工夫を進めます。</li> <li>・計画的な健康教育の実践を図ります。</li> </ul>

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<b>豊かな心</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳授業の充実を図る。</li> <li>・各教科等の授業を含む様々な教育活動において、自他を大切にする心情や態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 道徳授業公開を全学級で行う。 <b>指針1 「道徳の時間」の充実</b></li> <li>② たてわり活動の充実をはかる。 <b>指針2 体験学習の充実</b></li> <li>③ 保護者・地域・商店街・盲特別支援学校などとふれあう活動の充実を図る。</li> </ul>
担当	児童指導・特別支援教育委員会	

## 2. 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

古くから商店街として栄え、子供会や地域行事等の活動が活発なまちに住む。三世代が同居したり祖父母が近所に住んでいたりする家が多い。盲特別支援学校や大口工房等が学区にあり、そこに通う人々とふれあう機会がある。

自分からあいさつをしているという児童や達成感のある経験をしているという児童が多いが、一生懸命取り組んでいることがあると答える児童は少ない。自分には良いところがあると思っている児童や人の気持ちを考えて行動しているという児童が少なく、自己肯定感が低い。また、学習面でも生活面でも自信のない様子がうかがえる。

## 3. 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 指針1 「道徳の時間」の充実（必須項目） ※道徳教育全体計画・別葉と連動

- ・全学級の道徳授業公開を年一回以上実施する。
- ・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう「私たちの道徳」を積極的に活用する。【視点1】

### 指針2 体験学習の充実

- ・たてわり遊びやたてわり掃除、たてわり集会、たてわり給食、全校遠足、運動会、クラブ活動や委員会活動等の異学年交流を充実する。【視点3】
- ・小動物とのふれあいやお店体験活動、「たちばな会」や盲特別支援学校等との交流、宿泊体験学習等、発達段階に応じた「かかわり合い」の体験活動を充実する。

### 指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・人権教育全体計画に基づいた教育活動を行う。
- ・「自己肯定感をもてる子どもの育成～教師の支援の在り方を通して～」をテーマに、体育科を中心に重点研究を行い、児童が仲間とかかわり合いながら高まっていく姿がみられる授業を展開していく。
- ・子どもの社会的スキル横浜プログラム（Y-P）を活用し、学級経営やいじめの早期発見、不登校の未然防止に役立てる。
- ・人権感覚や意識の向上を図る研修会を行う。